

令和6年度 海辺の森管理業務実績報告書

項目	計画内容	実施内容
経営理念・経営方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ “すべての利用者に公平、平等な利用を提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人達が安全、安心に楽しめる施設”を目指します。 ○令和6年度総合的な管理運営方針 　風光明媚な日本海を背景に豊かな緑の自然の中で“見る”“聞く”“体験する”をテーマにロマンに溢れ人々が交流できる海辺の森にしたいと考えている。海辺の森を訪れた人々に“来る人に感動を、去る人に幸せを！”をフレーズとした森づくりを目指し、新潟市民が誇れる第一級の観光地を目指していきます。 　すべての利用者に公平、平等なサービスを提供し、幼児からお年寄りまで沢山の人が安全・安心に楽しめる施設を目指し「人々の活動を支える安全・安心の充実」「地域住民との協働による交流促進」「海辺の森の歴史・文化・自然資源の掘起してアイデンティティの育成」を管理運営方針として“海辺の森憲章”を提唱いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○顧客対応において感染拡大防止に努めて細心の注意を払いながら安心安全な運営を目指しました。 ○海辺の森キャンプ場・わんぱくの森・管理棟で、地域住民とボランティアスタッフと協働でイベントを企画・開催しました。今後、地域住民との連携体制をさらに強化して地域と共に継続的にイベントを定期開催し交流人口拡大と認知度向上を目指し精力的に活動して参ります。まだ海辺の森を知らない潜在層に対して海辺の森キャンプ場を知って頂き、自然を大切にする取り組みと思いも同時に発信していきます。 ソーシャルビジネスの観点から地域課題を解決する糸口を模索していく事業モデルとその仕組みを構築します。 ○昨年度から松の保育管理は「植樹」から「保育管理」へと舵を取り、今ある松苗を大切に育成管理することに注力しました。海辺の森全体とキャンプ場周辺エリアの保全美化に努めました。 ①三菱ガス化学様と共に TeamECO 活動を実施しました。また、新潟県労働金庫様やボランティアと共に、構内の松の車枝落としを行いました。 ②手ぶら BBQ サイト脇園路「花咲く小路」にツツジ、ひまわり、コスモスなどの草花を植栽しました。 ③わんぱくの森トイレ前・工房前にひまわり、オルレア、コスモスなどの草花を植栽しました。 ○乗用草刈り機や大型草刈り機を効率よく稼働させ、施設のより細やかな環境美化に努めました。 ○雪害等により、松やニセアカシアの枝折れが多発しましたが、迅速に撤去・処分を実施しました。
指定管理者申請の動機	<p>海辺の森は、新潟市内や新潟東港からのアクセスが良く、クルーズ船の来航が期待される場所となっています。佐渡が世界遺産となり、その絶景を望めるこの地を、新潟市民が誇れる観光地として「来たくなる、また来たくなる」場所に育てたいと考えています。私たちは、地域との繋がりを強化し、地域住民と共に豊かな自然環境を守り活かし、地域の発展に寄与してまいります。また、海辺の森を第一級の観光資源として世の中へ発信し創出していきたいと考え、この度申請いたしました。</p>	<p>初心の動機を忘れずに活動しました。</p> <p>海辺の森の認知度を底上げできるよう広報とイベント活動を継続的に行いました。ハードの面では施設の老朽化が進んでいる箇所の修繕やリフォーム等や、環境整備・清掃等を内製し、少しでも、お客様にとって快適な環境と安心、楽しみを提供できるように既存施設の有効利用に努めて参りました。</p>
運営管理業務に係る計画 ・運営体制 ・利用者数、 使用料収入見込 ほか	<p>私たちは本施設の運営に対し、「海辺の森憲章」の思いに沿って施設の育みを支えるスキルを確保し、常に応急の維持管理運営に対応できる体制を維持します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元雇用スタッフと現場知を活用 ○運営の工夫と交渉力で課題対応 ○森の緑の輝きを増強する力 ○総合リサイクルのアイデア充実 ○活動環境を設計する力 ○キャンプ場予約状況の公開 ○平日利用の県内外企業団体への積極的 PR、営業による利用者数、使用料の増加を目指します。 ○地域と連携したコミュニティビジネスの場づくりにより、利用者数増加を目指します。 <p>目標値：利用者数 7,500 人以上、使用料 3,300,000 円以上</p>	<p>行政や地域関係者との協働を通じて事故なく乗り切ることができました。また、設定していた利用者数と使用料における目標値は達成しました。</p> <p>利用者数は昨年度と同様でしたが、イベント開催では利用者数は前年比約 2 倍の人数がご来場されました。（R6.5 イベントで 2 日間約 5,000 名）公式 HP のリニューアルや、公式 SNS（Instagram、X、facebook）より随時発信し、各種報道機関（TV 番組、新聞、Web メディア、雑誌等）にも当キャンプ場が取り上げられ、大変好評を得ました。また、地元向けに回観板での情報提供も随時実施しました。今後も広報を強化して PR を重ねていき、更なる施設利用者を増やして参ります。</p> <p>令和5年度実績：7,116 人 令和6年度実績：13,317 人（イベント来場者含む） 市使用料 3,510,904 円</p>
維持管理業務に係る計画	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的に行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設保安活動 耐用年数を超えて、修繕可能な施設は事務・労務スタッフと共に、地元専門業者を活用し迅速に対処します。 ○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がないよう、事務・労務スタッフと共に地元専門業者に委託し迅速に対処します。 ○清掃 ・「海辺の森」の利用者の皆様に、快適な緑の森の森林空間の提供に努めます。 	<p>“安全を最優先とした施設の維持管理業務”を重点的に行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設保安活動 ・エリア巡回において不法投棄の有無の確認や清掃活動を強化しました。（記録写真撮影したものをスタッフ LINE グループにて共有を図り、産業振興課へ報告） ・スタッフ日々に担当者を配置し役割を決めて適材適所に業務担当を決めて内製作業項目を増やしました。 ○施設機能管理 施設設備機能は安全性を十分に考慮し、利用者に影響がないよう、管理スタッフまたは、地元専門業者に委託し迅速に対処しました。

	<ul style="list-style-type: none"> 除草：伐採 エリア毎に除草、伐採計画を策定し、通常の除草伐採班と別機動隊（ウエルロガー）による林床整備有償ボランティア活動の実施。 環境衛生管理：東屋等建築施設を、高圧洗浄機によってハチの巣、毛虫、クモの巣等の除去。計画的なゴミ分別、運搬処理。 	<p>○清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 内製化を図りました。トイレやシャワー室など水周り施設が経年使用のため汚れがひどい状況でオーブン前に清掃とカビ取りを徹底的に行いました。トイレ・シャワー室、炊事棟など水回りは特に入念に清掃管理を行い環境の美化に努めました。 クモの巣やアメシロ、蜂駆除に力を入れて快適な環境作りに努めて参りました。
自主事業の事業計画	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業</p> <p>(1) 物品の販売 ニセアカシアの伐採管理の薪販売。 600 円 × 800 束 = 480,000 円 / 年など合計 1,090,500 円 (他、詳細別紙収支計画)</p> <p>(2) レンタルサービス バーベキュー用品、マウンテンバイク、その他園内移動ツールのレンタル。 ・バーベキュー用品など (コンロ・チェア・ランタン・シチリン) シュラフ ・自転車（大人用・子供用）など 合計 420,000 円</p> <p>(3) CB 商品 コミュニティビジネスで作った商品の販売</p> <p>(4) 手ぶらで BBQ ・持ち込み BBQ 手ぶらで BBQ 100 セット 1,000,000 円 持ち込み BBQ 70 式 210,000 円</p> <p>(5) 手ぶらでキャンプ 104,500 円 (詳細別紙収支計画 積算内訳))</p> <p>収入計画合計 5,146,500 円</p> <p>2 利用者の増加を図るための自主事業</p> <p>1) 海辺の森賑わい創出（イベント開催） 海辺の森キッズ自然 Lab、海辺の森オープニングフェスティバル、海辺のバザール</p> <p>2) 南浜地域振興事業 南浜中学校いのちとこころの教育推進事業（南浜コミ協主催）、南浜朝市～魚と漁師と遊ぼう～ 北区パートナーシップ事業（南浜コミ協より委託）</p> <p>3) 海辺の森自然体験事業 海辺の森クラフト体験（北区社会福祉協議会様、キテミテキタク、太夫浜小学校様、太夫浜ひまわりクラブ様等）</p> <p>4) その他 ・新潟県労働金庫様、おらって新潟様での海辺の森に関する講演活動の実施 ・海辺の森及び島見浜の利活用推進における社会実験の実施（産業振興課主催、当会に委託） ・ボランティア制度の運営管理（海辺の森ボランティア制度運営委員会）</p>	<p>1. 利用者の利便性を図るため自主事業</p> <p>(1) 物品の販売 管理スタッフによる、ニセアカシア伐採管理で作った薪の販売は 600 円 × 545 束 = 327,000 円 / 年でした。</p> <p>(2) レンタルサービスについて バーベキュー用品やキャンピンググッズ等のレンタルは継続。今年度よりマウンテンバイクレンタルを開始しました。（保険対応済）</p> <p>(3) CB 商品販売について クラフト教室が好評でした。例年と同程度でした。 門松作りやクラフトに関してコンテンツの差別化と販路開拓に力を入れて参ります。</p> <p>(4) 手ぶら BBQ ・持ち込み BBQ について 手ぶら BBQ 売上 131 セット 1,310,000 円 持ち込み BBQ 売上 57 セット 171,000 円 総じて目標達成となりました。今年度は特に企業・団体のご予約が多く、大変好評でした。</p> <p>(5) 手ぶらでキャンプに関して 売上は 66,000 円で目標未達でした。新サービスについて、広報での PR を強化して参ります。</p> <p>1. の自主事業としては、概ねは計画をやや上回る実績をあげました。さらなる認知度アップへの広報とコンテンツ拡充により実績が向上すると思われます。</p> <p>2 利用者の増加を図るための自主事業</p> <p>・イベント開催では、新事業である海辺の森キッズ自然 Lab（子どもの自然環境教育イベント）、地元の団体様等 5 団体に提供し好評を得ました。オープニングフェスティバルは馬とのふれあい体験等、家族連れて賑わい、海辺のバザールでは過去最高の人数がご来場されました。</p> <p>・南浜中学校や南浜朝市で、地元との連携のもとで講演やクラフト体験を提供しました。来年度に向けて、南浜小学校を対象としたキャンプ宿泊体験を調整中です。北区パートナーシップ事業では、南浜コミ協よりイベント運営を委託し、島見浜とキャンプ場で 7 月と 9 月に実施しました。（社会実験と重複する箇所もあり）</p> <p>・クラフト体験の出張も各所にて積極的に実施しました。 ・海辺の森の認知度向上と、環境保全活動の啓蒙のため、講演活動を実施しました。 ・海辺の森独自のボランティア制度を発足し、イベントや環境保全活動等における活動を共に実施しました。</p>
支出計画	<p>○指定管理者</p> <p>人件費 8,524,000 円 管理費 12,156,000 円 事務費 1,190,000 円 諸経費 1,900,000 円 小計 25,700,000 円</p> <p>○自主事業</p> <p>収益 2,966,200 円</p> <p>合計 28,666,200 円 (令和 6 年度収支計画書参照)</p>	詳細については、別紙「新潟市海辺の森収支報告書（指定管理料・自主事業）」を参照してください。

組織・人員体制	<p>○組織 森の会本部と現場勤務は、その専門性で業務を分配します。 森の会経営会議では、経営全般、指定管理者として業務が適正に履行できているかを確認し、課題解決を図ります。</p> <p>○人員体制 統括責任者（施設管理所長）を配し、事務・労務スタッフと宿直スタッフ（シフト制）で管理運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者（施設管理所長） 1名 ・ 事務・労務スタッフ 7名（平日2人、休日3人勤務） <ul style="list-style-type: none"> ・宿直員 4名（4人シフトで宿泊利用日2勤務確保） 	<p>○組織 理事長、事務局長共に当キャンプ場内で運営管理における業務を行っています。月一回のスタッフミーティングでスタッフ同士の意思の疎通、並びに課題解決を図りました。森の会理事・総会では、指定管理者としての業務が適正に履行できているか等を確認し共有を図りました。</p> <p>○人員体制 統括責任者（施設管理所長）を配し、事務・労務スタッフと宿直スタッフ（シフト制）で管理運営を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総括責任者（施設管理所長） 1名 ・ 事務・労務スタッフ 7名（平日2人、休日3人勤務） <ul style="list-style-type: none"> ・宿直員 4名（4人シフトで宿泊利用日2勤務確保） 																																																												
雇用・労働条件	<p>○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用スタッフの現場知を活用。 ・運営の工夫と交渉力で課題対応。 ・森の輝きを増強する力。 <p>○事務・労務スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・40時間 8hr ※5日/週体制で3人シフト制 </p> <p>○宿直員 <ul style="list-style-type: none"> ・30時間 15hr ※2日/週体制で5人シフト </p> <p>○本部スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤 </p> </p>	<p>雇用・労働条件については、高齢者がほとんどであり、無理のない勤務状況を徹底しました。若手スタッフを採用し、施設管理からイベント運営まで、幅広い経験を積める体制づくりを今年度より採用し、現在も定着しています。</p> <p>○施設の育みを支えるスキル体制の雇用。 <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用スタッフの現場知と適材適所の配置を活用。 </p> <p>○宿直員 <ul style="list-style-type: none"> ・16時間 8hr ※2日/週体制で4人シフト </p> <p>○管理スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・24時間 8hr ※3日/週体制非常勤 </p> <p>※日直スタッフ7人体制としました。 時給985円～、実績に応じて賞与有。</p>																																																												
安全確保及び緊急時の対応	<p>海辺の森 災害・危機管理マニュアル作成済み 避難訓練</p> <table border="1" data-bbox="568 1464 1298 1918"> <thead> <tr> <th>プログラム名</th> <th>内容</th> <th>対象</th> <th>頻度・講師</th> <th>能力向上対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全教育（ミーティング）</td> <td>作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/日 内部講師</td> <td>国内安全対策の強化</td> </tr> <tr> <td>こども110番の家教育</td> <td>インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 内部講師</td> <td>緊急時対応金運</td> </tr> <tr> <td>介護サービス研修</td> <td>体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 外部講師</td> <td>介助訓練</td> </tr> <tr> <td>救急救命訓練</td> <td>救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）</td> <td>未講習者 未更新講習者</td> <td>1回/年 消防署</td> <td>救急救命訓練</td> </tr> <tr> <td>防災訓練/ 消防設備保守点検</td> <td>防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>2回/年 消防署</td> <td>緊急時対応訓練及び保守点検</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策	安全教育（ミーティング）	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	国内安全対策の強化	こども110番の家教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運	介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練	救急救命訓練	救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練	防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検	<p>海辺の森 災害・危機管理マニュアルに基づく避難訓練を2回実施しました。また、命の緊急性を要するAED講習について消防署講師を招き1回実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="1399 1464 2129 1918"> <thead> <tr> <th>プログラム名</th> <th>内容</th> <th>対象</th> <th>頻度・講師</th> <th>能力向上対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全教育（ミーティング）</td> <td>作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/日 内部講師</td> <td>国内安全対策の強化</td> </tr> <tr> <td>こども110番の家教育</td> <td>インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 内部講師</td> <td>緊急時対応金運</td> </tr> <tr> <td>介護サービス研修</td> <td>体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>1回/年 外部講師</td> <td>介助訓練</td> </tr> <tr> <td>救急救命訓練</td> <td>救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）</td> <td>未講習者 未更新講習者</td> <td>1回/年 消防署</td> <td>救急救命訓練</td> </tr> <tr> <td>防災訓練/ 消防設備保守点検</td> <td>防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検</td> <td>管理・作業スタッフ</td> <td>2回/年 消防署</td> <td>緊急時対応訓練及び保守点検</td> </tr> </tbody> </table>	プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策	安全教育（ミーティング）	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	国内安全対策の強化	こども110番の家教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運	介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練	救急救命訓練	救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練	防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検
プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策																																																										
安全教育（ミーティング）	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	国内安全対策の強化																																																										
こども110番の家教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運																																																										
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練																																																										
救急救命訓練	救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練																																																										
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検																																																										
プログラム名	内容	対象	頻度・講師	能力向上対策																																																										
安全教育（ミーティング）	作業機械の安全な使用方法や来園者の安全を守る教育	管理・作業スタッフ	1回/日 内部講師	国内安全対策の強化																																																										
こども110番の家教育	インフォメーションセンターに子どもが助けを求めたときの対応方法	管理・作業スタッフ	1回/年 内部講師	緊急時対応金運																																																										
介護サービス研修	体が不自由な方や高齢者の方への介護方法の教育	管理・作業スタッフ	1回/年 外部講師	介助訓練																																																										
救急救命訓練	救急手当の講習（心肺蘇生法・AED使用法 火災・地震・津波）	未講習者 未更新講習者	1回/年 消防署	救急救命訓練																																																										
防災訓練/ 消防設備保守点検	防災の訓練（通報・消火・避難訓練） 消防器等の点検	管理・作業スタッフ	2回/年 消防署	緊急時対応訓練及び保守点検																																																										
要望・苦情への対応	作成済みの接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止	接客マニュアルにより適切に対処、記録に残し再発を防止に努めました。統括管理責任者や森の会役員と協議し、速やかに産業振興課に報告・指示をもらいながらクレーム対応等いたしました。																																																												
個人情報の取扱	<p>安心して施設を利用していただくため、個人情報に関する関連法令・条例を遵守します。</p> <table border="1" data-bbox="568 2480 1343 2712"> <thead> <tr> <th>ポイント</th> <th>具体的な方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙データの管理</td> <td>・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。</td> </tr> <tr> <td>電子データの管理</td> <td>・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</td> </tr> </tbody> </table>	ポイント	具体的な方策	紙データの管理	・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。	電子データの管理	・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。	<p>個人情報に関する関連法令・条例を遵守するよう、月1回のスタッフミーティングにて周知徹底しました。</p> <table border="1" data-bbox="1399 2480 2129 2712"> <thead> <tr> <th>ポイント</th> <th>具体的な方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紙データの管理</td> <td>・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。</td> </tr> <tr> <td>電子データの管理</td> <td>・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。</td> </tr> </tbody> </table>	ポイント	具体的な方策	紙データの管理	・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。	電子データの管理	・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。																																																
ポイント	具体的な方策																																																													
紙データの管理	・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。																																																													
電子データの管理	・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。																																																													
ポイント	具体的な方策																																																													
紙データの管理	・個人情報の記載された裏紙の使用禁止。 ・保存期間の過ぎた資料は、細かく裁断して破棄処分。 ・無計画な複製をしない。																																																													
電子データの管理	・パスワードによる厳格な運用管理。 ・業務用パソコン、外付けメモリの外部持出しの禁止。 ・個人所有のパソコンの持ち込み禁止。業務での使用禁止。 ・システム管理の許可なく、ソフトウェアのインストール禁止。																																																													
環境保護の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量対策 HP、パンフレット等でPRし、ゴミ減量化に努めます。 ・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは分別し、法令等遵守し計画的に運搬処理します。 ・省エネ対策 管理棟、つどい棟周辺に、夏季は緑陰樹（グリーンカーテン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量対策 キャンパーには、基本的にはゴミの持ち帰りをしていただきました。マナーの向上と利便性を上げる目的でゴミの回収サービスを開始し好評でした。 ・リサイクル対策 キャンプ場内で発生したゴミは、分別し、法令等遵守し計画的に運搬処理しました。 																																																												

	ン) を設けます。	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ対策 今年度より新電気民間事業者へ移行し、継続してスタッフへの啓蒙活動を実施しています。東屋近辺にグリーンカーテンを設置しました。 ・SDGs への取り組みとして、海岸清掃で発生した流木や古材、伐採材を活用してベンチ、テーブル、スツール等の製作・設置を行いました。 ・海辺の森協議会の構成員として、海辺の森に敬意を払い海岸林保全活動に積極的に参加し、保全活動を牽引して参りました。
地元経済振興及び雇用確保の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協、地元農家、浜茶屋組合、商店街、観光協会とタイアップしたコミュニティビジネスの場づくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元漁協との協働で、地引網を 1 回実施しました。(天候不良のため 1 回のみ) ・わんぱくの森管理棟を拠点に南浜コミュニティとの CB の活動を継続、地域に浸透しています。特に、海辺の森の木質資源を活用したクラフト体験講座やミニ門松づくり体験、リースづくり体験等は、育成協や地域の小中学校、保育園をはじめ自治会、スポーツ振興会、商工会等に人気があり好評です。 ・地元就農家と連携したキャンプ場での新鮮野菜や南浜スイカ・トウモロコシ・サツマイモ等の販売を行いました。